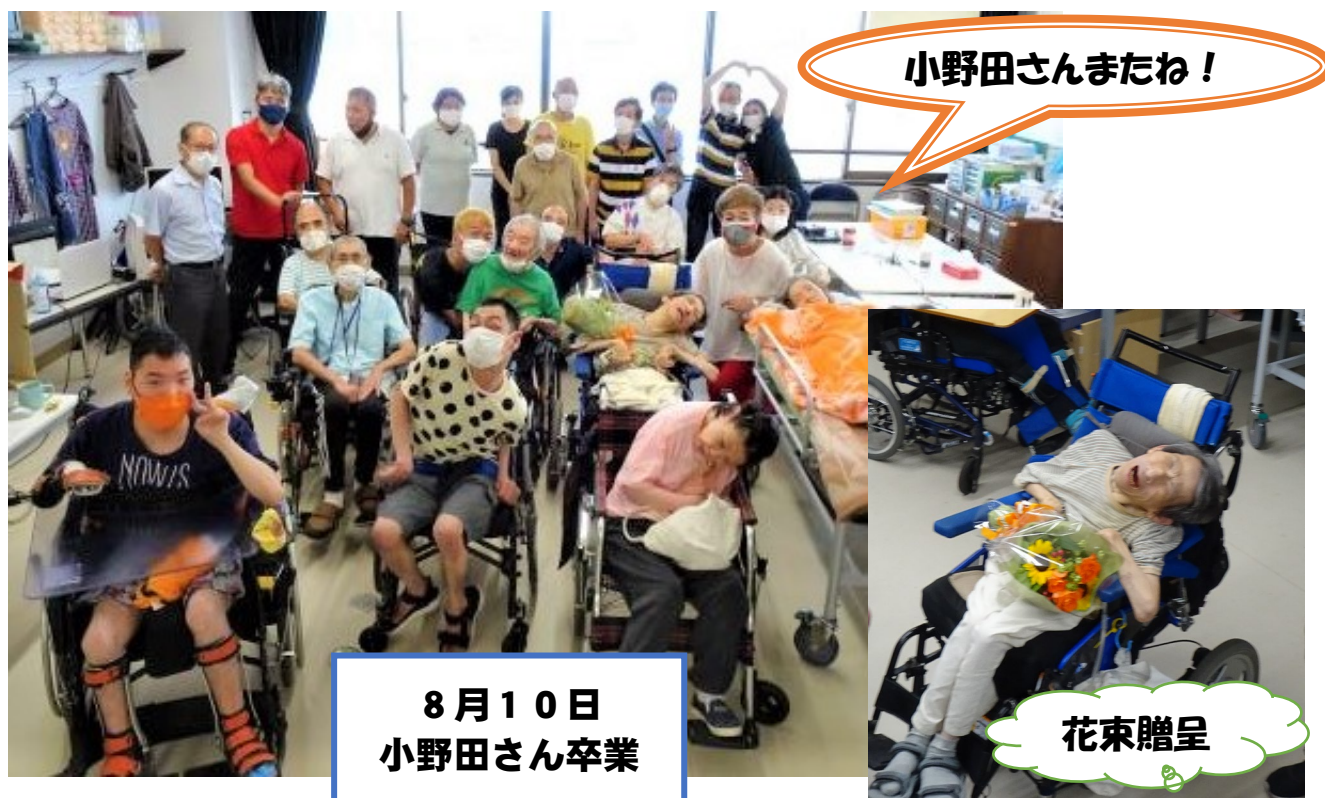


SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



8月10日
小野田さん卒業

花束贈呈

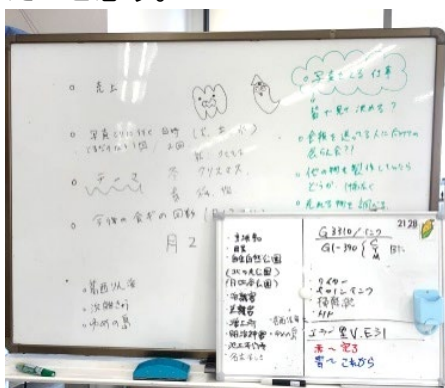
目次		2021年 9月号
☆工房ぷらす	2	・ワクチン (信高)
☆牛乳パック募集!	3	・オリンピック雑感 (小野塚)
☆活動報告	4	☆なつかしのアルバム 9
☆つぶやき 5・6・7・8		☆Tシャツ・タオル販売報告 9
・2020 東京オリンピック (佐久間)		☆風の子水先案内 10・11
・パソコン始めました (小熊)		☆寄付のお礼・所長のため息 12
※いおっちの写真集(イラスト集)は只今制作中のためしばらくお休みさせていただきます。		



工房ぷらす

廣瀬 依生

8/21(土)工房会議をした。
はがきの値段とどこで売るかの話し合いをした。また、誰が写真を撮るかを皆で話し合った。その結果、月に1回、メンバーと職員さんがペアになって写真を撮りに行くことが決定した。売店は、木村さん、小林さんが探すことが決まった。宜しくお願いいたします。写真のテーマは、工房会議で決めることになった。毎月ホームページにも載せていきたい。久しぶりの内職が9月に来るので、ドキドキするが仕事を頑張りたいと思う。



8/28(土)工房会議で、はがきのデザインについて話し合った。

まずテーマについて話し合った。秋はコスモス、冬はクリスマス、春は桜や梅などが出た。写真を撮りにいくのは月に1.2回が良いのではないかという意見も出た。日時は、火曜・水曜・土曜という意見があった。写真を撮ってみたい所を皆に聞いてみた。浜離宮・北の丸公園・日比谷公園・夢の島などがでた。私は、夢の島に行ったことがなく、夢の島

という名前から興味を持ったので行ってみたい。また、空などの景色を写真に撮り、はがきにしてみたい。今後の工房会議は月2回になった(最終土曜日とその前土曜日)。

9月の工房スケジュールの話をした。ゴミ袋の内職が久しぶりに来ます。1回目は、5箱、2回目も5箱で計10箱やることになった。内容は、ゴミ袋にシールを貼る作業です。写真のペアが決まり、ペアの人と話し合って撮りたいもの場所を決める。撮った5枚を皆に発表することになった。今回のペアで写真を撮るのは自信あるが場所がまだ話し合いがある。天気が心配だ。

おだいら様の貼り絵をメンバーさんと職員さんとやっています。

お雛様に貼り絵をしています。メンバーさんと職員さんとやっています。





牛乳パック募集

風の子会では牛乳パックを必要としています。
自宅で飲み終って捨てる牛乳パックが
ありましたら風の子会に寄付して下さい。お願い
します。 風の子会 掛橋



沢山の牛乳パックをありがとうございます。
メンバー一気

牛乳パック寄付のお礼(8月12日～8月31日)

金子好守様 神谷和子様 小西雅子様
山本美知子様 小林裕幸様



『活動報告』 ～8月9日から8月31日まで～ メンバー 島田龍司

《8月10日》

小野田さんを囲んで送別会をしました。僕は毎週月曜日に送迎の車が一緒でした。これから寂しくなります。

《8月14日》

工房の皆がちぎり絵でお内裏様とお雛様を作っていました。

皆でちぎり絵を集中して作業している様子です。

《8月18日》

企画で会議をしました。話し合った議題はTシャツタオルの総売り上げについて話合いました。他にもカレンダー販売について話しました。

《8月20日》

防災食を試食しました。

《8月28日》

夕会をしました。議題は9月の外出について話し合いました。話し合った結果、外出するのは控える事になりました。



皆で集まって夕会を行っている様子です。





2020 東京オリンピック

佐久間 久仁子

コロナ感染者が増え続け開催に疑問の声を多く聞くなかで、2020東京オリンピックは開幕しました。当日東京タワー上空をブルーインパルスが5色のスモークを描いた時、57年前の熱い思いが蘇ってきました。

小学校の各教室にはテレビが設置され、授業がオリンピック観戦に変わりみんな大喜び。日本は高度経済成長真っただ中、子供心にもその活気溢れる東京を感じました。「東洋の魔女」女子バレーボールの圧倒的強さに日本中が興奮しました。「より速くより高くより強く」のメッセージと共に亀倉雄策の陸上選手の躍動的なポスターも深く心に刻まれています。

そして迎えた7月23日。一年の延期、緊急事態宣言、無観客と異例づくめのオリンピックは「多様性と調和」を掲げ、難民選手団を含め206の国と地域、選手11,000人の参加で開会式を迎えました。人種、性別、性的思考、言語、宗教、政治、障害の有無…どんな差別も受けることなく全ての人々がスポーツをする権利を与えられなければならないと、憲章に謳っていますが、それが容易いことではないと誰もが感じています。しかし0.1秒1点に悔し涙を流し、世界の壁、自分の限界に挑戦し続けたアスリートたちが互いを称え、肌の色が違っていても言葉が通じなくても理解し合えることを目の当たりにし、支えてくれた人への心からの感謝を聞くと、これがオリンピックの真髄だと教えられました。アスリートの笑顔や涙に触れ、スポーツには計り知れない大きな力があることに心を打たれ、コロナ禍の閉塞感から暫し解放された17日間でした。

24日からはパラリンピックが始まります。激しくぶつかり合う男女混合の車いすラグビーは迫力満点でしょう、大いに楽しみにしています。

アスリートたちが持てる力を十分発揮できるよう心から願い、応援したいと思います。



パソコンを始めました

風の子会で5月15日からパソコンの勉強を始めました。初歩の初歩からだけでも楽しいです。

一度は諦めたパソコンの習得だけれど再び機会を与えてくれた岡本所長と平沼さんには感謝しかありません。何分加齢による頭脳の衰えや乱視、指先の震え等で苦戦していますが石黒さんという強い味方が側でアドバイスをしてくれるので助かります。いつの日か自分ひとりで、会報に、つぶやき、を載せられるようになりたいです。パソコンの技術がもっと進歩すれば、風の子会の仕事も出来るようになれば最高です。パソコンを始めて最初につぶやきは、

上手く行かないなー!?

オリンピックの柔道を観ていて感じた違和感です

オリンピックが閉会しました。開催前は賛否両論があり反対の方が新聞によっては反対派が70%近くだったと思うのですがテレビ、始まってしまえばそんな事は無かった様に日本中が熱狂しました。私もモヤモヤしながらも一部ですがテレビ観戦しました。その中で感じた違和感があります。柔道の階級の多さです。日本は男女団体合わせて金9個、銀2個、銅1個も獲得しました。それはそれで喜ばしい事には違いないのですが、皆さんはメダリストの顔と名前を覚えていますか？私はとても無理です。覚えられない程メダルを乱発したらメダルの価値が薄れると思うのですが、私はレスリング、ボクシングも含めて階級は、重量級、中量級、軽量級、増やしても、無差別級だけです。そうでないと誰がメダリストとして真にふさわしいのか解らなくなってしまうと思うのですが、どうでしょうか、それぞれの協会やIOCの思惑があって難しいのでしょうか是非一考して欲しいと思います。

次に違和感を覚えたのはテレビ放送の異常なはしゃぎ様です。メダルの数がいくつとか金メダルの数が何番目とかそんな事ばかりです。活躍した他の国の選手についても、もっと報道すべきだとおもうのですが、どうでしょうか？



メンバー 小熊健



～ワクチン～

令和3年に、コロナウイルス対策に寄る

ワクチン接種を受けた事による感想

信高 正義

自分の場合は1回目は7月6日に受けた時は、多少のだるさはあったものの、耐え難くなるものでは無く時と共に、だるさも倦怠感も収まっていった。

2回目は7月28日に受けたが、普通の状態でいられた。故に、今は2週間の状態待ち期間と、いう事で何も目立った行動はしていない。2週間経って体内に抗体が出来れば、ある一定の期間は効き目はあると言うが、それがどれ位かはまだ未知数である。新聞情報では、たとえ抗体を持っていたとしても感染はすると言う事で、その後ウイルスを取り込んだ状態が重症になるか、軽症で済むかの違いであるという。

ただ、自分の場合は後々症状が出て、生活行動の妨げにならぬようにと一応接種をしておいた。だが注射において個人差があるので、2回目の注射をしたかどうかは、どうにも記憶が無い。ただ、周りの人が「注射は、打っただろう」と、言うのでそれを信じるしかない。

注射を打った当日は自宅でおとなしくしていた。そして2～3日過ぎても体調は変わらないので普通に動けると思う。そして2週間が過ぎたら自分の体に抗体が出来てウイルスを防ぐのである。『これで安心』と思っていたのもつかの間で今度は “デルタ株” なるものが登場した。これは完全な『イタチごっこ』で、同じ語句の繰り返しが分かった時点で辞めないと無限ループに落ちてしまう。

つまり、ウイルスとワクチンの小競り合い、つまり、ウイルスが新型になってワクチンも新型になる。そんな事を繰り返すのは、はた目から見ると明らかに無駄に見える。しかし今のままでワクチンを作り続けても小競り合いを繰り返すだけなので、2～3回位ワクチンの小競り合いを繰り返すかいつその事、数回のワクチンの効き目を一つにした特効薬でも出来れば良いと思うのだが、理想の域を出ない。そんな万能のワクチンがあればとっくに使い始めているのだが、現実には中々そんな万能ワクチンは簡単には作れない。ウイルスが発生すればワクチンを作って蔓延を終わらせなければならない。



オリンピック雑感



風の子の窓から見える選手村

2021年7月23日、東京オリンピックが開幕した。新型コロナウイルス蔓延のため開催が1年遅れ、その1年後もコロナが収まらない中でのオリンピックとなった。自国開催ということもあってか日本人選手の活躍が目立ち、競泳、柔道、卓球、野球、ソフトボール、スケートボード、レスリング、フェンシングなど多くの競技でメダルラッシュとなり、大いに盛り上がったオリンピックだった。

その一方でコロナ第5波パンデミックは感染拡大の一途を辿っている。東京では1日の感染者数が5000人を超える日もあり、全国的には医療体制がかなり逼迫していて、30代40代の感染者が激増していて、コロナは終息の形が全く見えない。

アスリートに罪は絶対はない。デルタ株という厄介なファクターもある。ただ今回のこの東京オリンピックが第5波感染拡大の要因の一つであることは間違いないだろう。賛否両論を論じるつもりはないけれど、東京オリンピック開催の代償は確かにある。

新しい風の子の実習所の窓からはオリンピック選手村がはっきりとよく見える。各国から来た代表選手達がそこに寝泊まりし、それぞれの競技に必死に取り組んだのだろう。

選手村を眺めながら、そんな諸々の事を思ったりした。

小野塚 航



風の子・なっかしのアルバム



佐久間親子、ビールで乾杯。
仲が良い親子です

この写真は、2003年9月に喜連川
で旅行に行った写真です。皆で温泉に
入り夕食での大宴会が懐かしいです。
また、旅行に行きたいです

メンバー 田中 聡



2021年Tシャツ タオル売り上げ報告

総売り上げ人数	19名
総売り上げ個数	85点
総売り上げ金額	136790円

ご協力をしていただいた方ありがとうございました

企画 リーダー 田中 聡

この度は、夏季Tシャツ・タオルの売り上げにご協力していただいた方、本当にありがとうございました。営業をしに伺いたいのですが、新型コロナウイルスにて営業に行かれておりません。来年こそ、皆さんにお会いが出来る日を楽しみにしています。

☆ 風の子水先案内 ☆

～ 2021年8月の出来事 ～

・8/1(日)～8/8(日) 夏休み

→東京オリンピック期間中の都内の交通規制による混雑や渋滞状況は予想がつかず、送迎に支障が出ると思われたため、例年はお盆の前後だった風の子の夏休みを今年はこの期間にした。

・8/10(火) 第2回ワクチン施設巡回接種

→ワクチン接種2回目も無事滞りなく行われた。ここからは個人的感想なのだけれど、2回目接種は翌日の副反応がひどかった。朝起きると37度6分の微熱があり、午後には38度4分まで上がり、一日を通して全身を恐ろしいほどの倦怠感にずっと襲われ、何もする気が起きない脱力感に取り込まれていた。父に見守られながら食べて



は風邪薬を飲んで寝て、また食べては風邪薬を飲んで寝てを繰り返してなんとか一日を乗り切った。その翌日には副反応もおさまったけれど、こんなにもひどい反応が出てしまうワクチンとは如何なものかと若干訝しんでしまった。

・8/10(火) 小野田さん卒業

→メンバーの小野田さんが特別養護老人ホームへの入所が決まり、風の子通所がとりあえず一区切りとなったのでこの日、ささやかなお別れ会を開いた。メンバー



を代表して朝生君が花束を、田中君がタオルをあげた。小野田さんは風の子と40年近く関わっている最古参メンバーの一人だ。そんな人と会えなくなるのは寂しい。これからも特養で元気に過ごして、またあの素敵な笑顔を見せに来てください。

（報告が遅れましたが、メンバーの矢島さんも2月に施設入所が決まり、風の子通所が難しくなっていました。小野田さん同様にまたいつでも顔を見せに来てください）

・8／11(水) 健康診断

→メンバーと職員の健康確認と促進を図るため、風の子では年に一度健康診断を行っている。芝診療所へ行って身長、体重、採血、レントゲン、心電図などを測った。採血がなかなかうまくいかず、30分近くかかったメンバーが約一名いた。

・8／14(土) ちぎり絵作成

→保健福祉支援部から『地域で共に生きる障害児・障害者アート展』への参加依頼があり、工房でちぎり絵を作成して出展することになった。模造紙にお雛様とお内裏様を描き、折り紙をちぎって貼り付けるのだ。まだ作成し始めたばかりで試行錯誤状態だけれど、楽しくやっているの完成を乞うご期待!!



・8／20(金)・28(土) アルファ米作り

→詳しくは次号に。

※コロナ感染拡大のため

予定されていた運営委員会とお買い物は中止となりました。

文責 運営委員・小野塚



賛助会(寄付)・物品寄付のお礼

賛助会(寄付)ありがとうございます。(8月12日～8月31日)(順不同)
中山 信孝様 小林 絵莉様 鈴木 新様 花岡 佑大様 岡本 和子様

物品寄付ありがとうございます。(8月12日～8月31日)(順不同)
山本 美知子様 岡本 明様

●5月号で賛助会の募集を行いました。皆様からのたくさんのご寄付ありがとうございます。これまでに集まった賛助会ご寄付は以下の通りです。引き続き募集しています。よろしくお願ひします。

賛助会実績（8月31日現在） 80名 4,708,000円



所長のため息

依然として、コロナの感染者は増加の一途をたどっています。風の子では週1回、会で使う日用品を買ってこようとメンバーと職員で買い物に行っています。しかし今の状況では感染の危険もあるので8月、9月の買い物を中止にしました。再開できる日は所長の判断で、また夕会にはかるということになりました。外に出ることがストレス解消にもなっていたので、とても残念です。来年こそはみんなで外に出たいですね！

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

企画編集メンバー

太田 圭子	信高 正義
太田 稔	三木 直人
小野塚 航	柳川 敬事
島田 龍司	幸 高史
田中 聡	

編集人：【高浜生活実習所】生活介護、就労継続支援B型
〒105-0022

東京都港区海岸2-6-29 平成海岸ビル5階

TEL 03(6809)4001

FAX 03(6809)4002

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>

e-mail：kazenoko@kazenokokai.or.jp

発行人：障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区祖師谷3-1-17

ヴェルドゥーラ祖師谷102